

令和4年度

第1回 埼玉県県央地域医療構想調整会議

議事概要

開催日時：令和4年7月21日（木）

19：00～20：09

開催形式：WEB開催

1 開会

鴻巣保健所高林副所長が進行。

2 挨拶

遠藤鴻巣保健所長が挨拶。

3 議事

会長の選出までは、遠藤鴻巣保健所長が議事進行を行った。

仁科委員が会長に、伊波委員が副会長に選出された。

会長が議長となり議事を進める。

(1) 令和4年度地域医療構想調整会議について

概要について、保健医療政策課が説明した。

(2) 公立・公的・民間医療機関における対応方針の策定・検証・見直しについて

概要について、保健医療政策課が説明した。

【質疑応答】

(委員) 現在、新型コロナウイルス感染症の第7波という状況である。調査のタイミングをどのように判断しているのか。

(保健医療政策課) 調整会議で説明してから調査を実施しようと考えていたところ、調査のタイミングが第7波と重なってしまった。今年度・来年度の2年間で、方針について協議することが求められているので、非稼働病棟の報告も含めて、調査の時期については改めて検討する。ただ、年3回の会議の中で間に合うように御協力いただきたい。

(委員) 数年前から非稼働病床を有している。地域医療構想では、昨年12月にこの問題が議題に挙げられ、3月に対応案が示された。新型コロナ

ウイルス感染症の対応もあり、なかなか考えが策定できないが、再稼働ができなければ返還するということを考えている。また今後、調査をして御意見をいただければと思う。

(委員) 我々のところは病床を一部制限している。当初予定していた内科系の診療科をオープンしたいが、マンパワー不足でオープンできない状況が続いている。ただ、地域の要望があるので検討を続けていく。また皆様の御指導をいただきたい。

(3) 第7次地域保健医療計画の変更に基づく病床整備計画の公募について概要について、医療整備課が説明した。

#### 【主な意見】

(委員) 今回の公募病床数は1763床ということでかなり大きな数字だ。先ほどの非稼働病床の問題とあわせると非稼働病床が返還された場合に、次回の公募病床数が増えるということか。また、どの医療機関も医療スタッフの確保が非常に大変な状況である。特に埼玉県は看護師、それから介護職員が少ない。そういうことを考慮した病床の公募なのか。

(医療整備課) 第8次地域保健医療計画の当初公募がある場合、その時の既存病床数の算定までに病床が返還されていれば、既存病床数に反映される。また、スタッフ確保については、計画を御提出いただく医療機関からどのようにスタッフを確保するか説明があるので、スタッフ確保についての実現性・確実性を考慮いただいたうえで採用計画を決定していきたい。

(委員) スタッフ確保について、私が言いたかったのは、近隣医療機関への影響が非常に強いことが心配されるということである。

(医療整備課) 近隣医療機関から、例えば引き抜きのようなことがあるのではないかと、そういった御質問・御心配だと思う。応募した医療機関がどのように医療スタッフを確保するかについても、調整会議の場で御質問いただければと考えている。その説明を聞いたうえで、その計画が適切かどうかを御判断いただきたい。

(4) 埼玉県地域保健医療計画に基づく病床整備の進捗状況について概要について、医療整備課が説明した。

(5) 外来機能報告に基づく紹介受診重点医療機関の明確化について概要について、保健医療政策課が説明した。

(以上)